

企業=経営×デザイン 企業活動における統合デザイン開発

1. 事業者の概要

大学名：崇城大学  
 所在地：熊本県熊本市西区池田4-22-1  
 電話/FAX：096-326-4012  
 メール：iida@art.sojo-u.ac.jp  
 研究者情報：飯田晴彦 教授(芸術学部デザイン学科  
 プロダクトデザインコース 製品デザインスタジオ)  
 論文掲載、知的財産取得情報：高強度複合材料における新しいデザイン手法の応用と  
 検証 日本機械学会論文集 Vol.81, No.824, 2015  
 活用した助成金：くまもと夢挑戦ファンド事業助成金  
 産学官連携実績：熊本大学、サンワハイテック、堀甲製作所、熊本県産業技術センター



飯田晴彦 教授

2. 研究開発の目的と動機

【研究の目的】

デザインを経営に取り込むことによって企業価値の創出し、社会におけるポジションの確立により経営を安定化する。

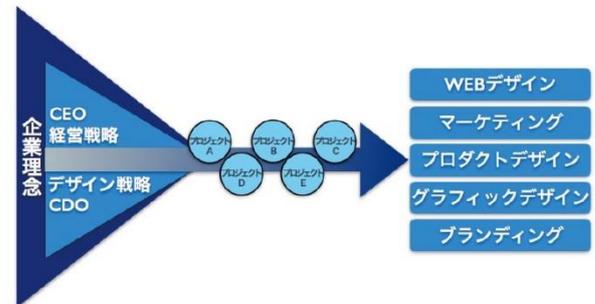
【始めたきっかけ】

プロダクトデザイナーとして多くの顧客、企業の課題に向き合ってきた。その過程で「デザイン」というものが、プロダクトやグラフィックのようなアウトプットだけでなく、企業そのものをデザインすることが必要だと確信するようになった。実際、2010年以降「デザイン」の役割は大きく広がり企業の経営方針、企業文化の形成にまで及ぶようになってきている。デザインは継続してこそ企業価値、文化を生むものであり、多くの日本企業がデザインを活用する方向性を定められていない現状を変えたいと考えた。

4. 具体的な展開

【統合デザイン開発】

CEOと同じようにCDO（Chief Design Officer）またはデザイン統括部門を設置し企業デザインを統括する。



企業理念の基、CDOまたは統括部門がマーケティングからブランディング、製品、広告、そしてデザイン戦略を構築する。

3. 概要と強み

【研究の概要】

デザインの広義の目的である「問題解決」「価値創造」「未来提案」の3つをマーケティング、ブランディング、経営戦略(≡デザイン戦略)にかけ合わせ、CDO (Chief Design Officer) を中心として企業の統一した考えを発信することで、事業環境の変化に対応し強いブランド力を創り上げること。

【デザイン導入の強み】

- ①企業のステークホルダーは、顧客、従業員、投資家、地域と様々である。デザインによって他者を意識した経営が可能となり、多くの共感や支持を得ることができる。
- ②デザインは価値を作り出すプロセスでもある。自社の理想を追求することで社会におけるポジションを確立することができ、競合とは異なる価値の創出を意識した経営をおこなうことが可能となる。
- ③デザインは未来提案であり、これまでにない企業活動が生まれる。
- ④デザインを経営に取り込む事は継続的に企業に変化を与え「イノベティブな組織」へと変革させる。

5. 企業へのメッセージ

デザインは、経営のトップがデザインを理解し、経営戦略と同じように強力な意思決定があつてこそ威力を発揮します。デザインを一発逆転の手段として単発とせず、継続的に行うことによって、点から面になり、企業そのもののデザインが生まれます。海外のスタートアップ企業が最先端と報じられますが、その企業には必ずデザインがあります。シリコンバレーにも企業と同じだけのデザイン事務所が存在します。これからの社会でデザインを抜きにした経営は考えられません。デザインを経営に取り込み、変化に対応できるイノベティブな組織づくりをご一緒に目指せればと考えます。

HORIKO 堀甲製作所



統合デザイン例 (CI、グラフィック、Web、プロダクト)